

第1回豊山町都市計画マスタープラン策定委員会議事録

1 開催日時 平成31年1月17日(木) 午後2時～午後3時50分

2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室3・4

3 出席者

【委員】	中部大学	教授	磯部友彦
	豊田工業高等専門学校	講師	佐藤雄哉
	豊山町商工会	会長	山田敏文
	豊山町農業委員会	会長	安藤茂市
	女性の会	会長	中村百合子
	住民代表		坂田和徳
	住民代表		田村美紀
	愛知県都市計画課	主査	大見明弘
	愛知県尾張建設事務所	企画調整監	林克生
	豊山町	総務部長	小川徹也
【事務局】	産業建設部	部長	佐藤正司
	産業建設部	参事	森匡孝
	地域振興課	課長	高桑悟
		地域振興係係長	菊地智行
		地域振興係主事	古田慎弥
	玉野総合コンサルタント(株)		高木浩二
	玉野総合コンサルタント(株)		高柳澄人

4 議 題

(1) 委員長及び副委員長の選出について

(2) 議題

① 都市計画マスタープランとは

② 都市計画マスタープランの改訂にあたって

(3) その他

5 会議資料

※別添資料 第1回豊山町都市計画マスタープラン策定委員会資料

6 議事内容

(1) 委員長及び副委員長の選出について

【事務局】

豊山町都市計画マスタープラン策定委員会は設置要綱第6条第1項の規定により、委員長が議事の取りまわしをすることになっております。現在のところ、委員長がまだ決まっておりません。したがって、委員長が決まりますまでの間、私が議事を進行させていただきますので、よろしくご協力をいただきますようお願いいたします。

それでは、次第2の(1)委員長及び副委員長の選出に入らせていただきます。

豊山町都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱第5条第1項の規定では、委員の互選によって委員長、副委員長を定めることとなっております。

それでは、委員長、副委員長へ自薦または他薦でどなたかございますでしょうか。

【委 員】

それでは、私から委員長、副委員長を推薦させていただきます。学識経験者としてお願いしております、お2人の先生にお願いすることがよろしいかと思えます。

委員長には磯部先生、副委員長には佐藤先生を推薦いたします。

【事務局】

ただいま、安藤委員から委員長には磯部委員、副委員長には佐藤委員の推薦がございましたが、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

「異議なし」とのお声をいただいておりますが、今一度、皆様の拍手で磯部友彦委員を委員長として、佐藤雄哉委員を副委員長としてご承認いただけますでしょうか。

(拍手)

ありがとうございました。

それでは、当策定委員会の委員長には磯部友彦委員が、副委員長には佐藤雄哉委員が選出されました。

委員長、副委員長が選出されました。磯部委員におかれましては、委員長席への移動をお願いいたします。

(2) 議題

- ① 都市計画マスタープランとは
- ② 都市計画マスタープランの改訂にあたって

【事務局】

(資料に基づき (2) ①から②まで説明)

【委員】

総合計画の策定スケジュールはどうなっているか。

【事務局】

今年の7月までに基本構想を策定。基本計画の1次素案を作成し、年度末ま

でに2次素案を策定予定としている。それに併せて都市計画マスタープランの全体構想を7月までに策定していく予定としている。

【委員】

11ページに書き込めば整合性が取れる。

【事務局】

了解した。

【委員】

都市計画的に大きな計画（公園、工場誘致等）大きなインパクトを与えるような計画はあるか。

【事務局】

現段階では具体的に、企業立地等の計画はない。そういった状況も踏まえてマスタープランで検討していく。

【委員】

新聞では北部市場の話もある。空港施設南側の調整区域の土地利用計画についても、計画としてはあるが現在は農地のままである。それらの利用計画はこれから総合計画でも検討していくと思うが、なにかあるか。

【事務局】

基礎資料1の79ページをご覧ください。新栄小学校区において航空宇宙産業を中心としたゾーンを平成22年当時設定した。該当地域の調整区域はそういった構想に基づいて、MRJの最終組立工場を立地した。更に今年の3月に市街化編入する。こうした計画で進めてきた。今後どうしていくかというのは、計画をつくって皆様と考えていきたい。

また、北部市場の話がでたので説明する。昨年、中日新聞で北部市場の統廃合が報道された。我々も設置者である名古屋市に状況を聞きに伺った。名古屋

市としては今すぐに統廃合するつもりはなく、新年度に入ってから有識者による検討会議にて検討していく。これから北部市場の動向についても、7月までの段階でわかれば明記する必要があると思料するが、今の状況では7月までに方向性は見えてこないのではないかと考えている。そのため、事務局としては現状のままと認識している。

【委員】

今回、町の想定以上に10年間で世帯、人口が増えた。都市の整備が追いついてない場所があるのではないか。次回の課題の抽出の際に地域に分けて分析していただければよいかと考える。

また、現行のマスタープランの分析をしている。その中に個々の事業があり、未着手が多い。今後のマスタープランを作成するにあたって、未着手だと勿体ないので原因を分析して明確にして考えて頂ければと考える。

【委員】

基礎資料2の95ページは、産業ゾーン少なくなっているため、「暫定農業地区」、「農業地区」における位置づけ等を変更するとあるが、それはこれから作る計画で位置づけを変更していくということか。

【事務局】

豊山町全体で農地は少ないので今後、どのように活用していくのかは課題である。航空宇宙産業の発展もあるので、活用方法を今後検討していく必要があると考えている。ここからどうしていくかの分析をして、今後全体構想にどう反映していくのかも含めて検討していく予定。

【委員】

豊山町は大きくないが、都市として開発されてきた。残った土地を今後どんな風に活用していけばいいのか。また、豊山町だけで考えるのか、隣町も含め

て考えるのか。広い視点をもって考えていくのべきかと思う。

(3) その他

【事務局】

次回第2回策定委員会を7月に開催予定としている。近づいたら皆様にご案内する。

上記のとおり第1回豊山町都市計画マスタープラン策定委員会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、委員長及び出席者1人が署名する。

平成31年1月30日

委員長 磯部友彦

署名人 山田敏文